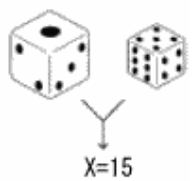
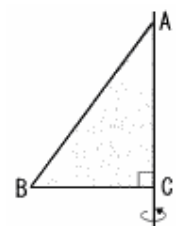
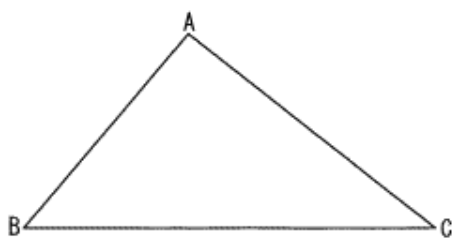




印刷して、紙の上でやってネ!

<p>1</p>	<p>(1) 😊 $-3+5$</p> <p>(2) 😊 $(4x+5y)+(2x-y)$</p> <p>(3) 😊 $(8a^3b^2-4ab) \div 2ab$</p>	<p>7</p>	<p>大小2つのさいころを投げて、大きいさいころの出た目の数を十の位に、小さいさいころの出た目の数を一の位にして、2けたの自然数Xを作る。例えば、右の図のように、大きいさいころの出た目が1、小さいさいころの出た目が5のとき、$X=15$となる。</p>  <p>このとき、Xが8の倍数となる確率を求めなさい。</p>
<p>2</p>	<p>😊 x^2-6x+5 を因数分解しなさい。</p>		
<p>3</p>	<p>連立方程式 $\begin{cases} 3x+2y=11 \\ 5x-3y=-7 \end{cases}$ を解きなさい。</p> <p>ただし、解答用紙の(解)には、答えを求める過程を書くこと。</p>	<p>8</p>	<p>$a=\frac{1}{4}$とするとき、次のア～エのうち、値が最も小さいものと値が最も大きいものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。</p> <p>ア a イ \sqrt{a} ウ $-a^2$ エ $-\sqrt{a}$</p>
<p>4</p>	<p>右の図のような$\angle ACB=90^\circ$の直角三角形ABCにおいて、$BC=3\text{cm}$、$AC=4\text{cm}$である。この直角三角形ABCを、直線ACを回転の軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。</p> <p>ただし、円周率はπとする。</p> 		<p>図の三角形ABCにおいて、次のような3点D,E,Fについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点A,Bから等しい距離にある、辺BC上の点D ・2点A,Cから等しい距離にある、辺BC上の点E ・2つの辺AB,ACから等しい距離にある、辺BC上の点F <p>この3点D,E,Fの位置をコンパスと定規を用いて作図して確かめ、線分BC上の3点D,E,Fの並び順を、記号で表しなさい。</p>
<p>5</p>	<p>yはxの2乗に比例し、$x=-2$のとき$y=8$である。このとき、yをxの式で表しなさい。</p>	<p>9</p>	
<p>6</p>	<p>上底の長さがa、下底の長さがb、高さがhである台形の面積Sは、次の式で表される。この等式を、aについて解きなさい。</p> <p>$S=\frac{1}{2}h(a+b)$</p> 